

市民助け合いネット

# 仲間通信

【第33号】

発行

NPO法人

市民助け合いネット

代表 片岡 興一

〒270-0121 流山市若葉台3-131

☎ 04-7153-5733

平成28年11月末現在

私たちの仲間

総数 1150名

内訳

提供会員 430名

利用会員 720名

## 高齢者が安心して暮らせる地域づくりは、住民も行政も力を合わせて進めよう！

高齢者の助け合い活動に大きく影響のある改正介護保険制度が施行して一年八カ月が経過した十二月五日さわやか福祉財団の全国交流フォーラムが開催されました。

フォーラムでは「住民も行政も一緒になった新しい地域づくり」の進捗について全国九地域から報告がありました。

各地域の報告から見えることは、新地域支援事業化の要点である地域・住民主体の仕組みづくり、担い手づくりの進み具合は、市区町村で大きな開きがある状況と云うことです。

そのような中で流山市は、結果として比較的先行していると言えます。結果と表現したのは、流山市は住民が助け合い活動を自主的に行ってきた歴史があるからです。当会も高齢者の生活支援の必要性を感じて片岡代表を中心に市民助け合いネットを設立したのが十三年前。介護保険制度改正に合わせてスタートした市区町村と比べると一日の長があるのは当たり前のことです。

しかしながら、新地域支援事業実現のために住民、行政が一体となつて協議体を中心に地域づくりを進めている他の市区町村と流山市を比べると流山市は、一体感の

ある取組みが行われているのか？はなはだ疑問です。

他の市区町村では、行政、社会福祉協議会（行政の委託を受けて取り組んでいるケースが多い）と住民が一緒になって取り組んでおり、協議体を中心に地域づくりが行われています。

その視点でみれば流山市は童話の「うさぎと亀」の結末になる恐れがあります。協議体を中心に一

体感のある取組みが今後、求められるところです。

市民助け合いネットの新地域づくりについて触れておきます。

市民助け合いネットは、流山市全域の高齢者生活支援を行っていますが、サービス提供会員の手薄な南部地域（前ヶ崎、松ヶ丘地区など）に仲間を増やすため、地域づくりを推進してもらえりリーダーを募ってきました。この一年、



上左：樹木の剪定 上右：病院への送迎  
下左：健康麻雀 下右：えがお談話室



「えがお」を口コミや地域新聞の掲載などで好意的に取り上げていただき、遠方からの利用も増えてきたことで新たな問題も抱えています。

紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

ふれあいの家「えがお」

## 利用者1万人突破！



「えがお」利用者は八割以上、女性の利用になっていきますので、もっと男性の利用を望むところです。男性が利用しやすい工夫をしています。が、是非、周りの男性方に一声かけて誘ってください。

ふれあいの家「えがお」がオープンしたのが平成二十六年七月。オープン当初「果たして何人来てくれるか？」私たちの心配をよそにこの平成二十八年十月で利用者一万人を突破しました。

その一つとして駐車場が無いことで近隣の方へのご迷惑、利用いただいている方にご不便をおかけしております。その駐車場も近くに確保できる目処が付き、駐車問題を早期に解決していきます。

片岡代表を中心に、心ある人に声を掛けてきましたが、ここにきて共に助け合いの輪を広げようと共感してくれる方々が現れ、これから活動拠点、助け合いの仕組みや仲間づくりが始められる段階になりました。

今後、市民と行政との協働化の拠点でもある市民活動推進センターを中心に進めていきますので、進捗を逐一、ご報告いたします。



## 千葉県主催 「元気シニア地域ボランティア 養成研修会」を開催しました。

十一月五日(土)、六日(日)の二日間、千葉県主催の元気シニア地域ボランティア養成研修会を市民活動推進センターで開催しました。

この研修会は私たちの兄弟NPO法人ともいえる「たすけあいの会ふれあいネットまつど」が千葉県から委託されたもので、当会はこれに協力するかたちで「居場所・サロン」コースを受け持ちました。

受講料二千円にもかかわらず二十名の参加を得て居場所、サロンづくりの実践的な研修を行い、さらに活動体験も加えることで受講者からも大変、高評価の研修会になりました。男性の受講者は一名で、ここでも女性のやる気パワーに圧倒された研修会でした。



浅川教授(江戸川大学)の講義風景

## 「えがお」出演者、 スタッフ交流会開催！

照井康文さん率いるクレイジーフォー



由布川亭銀歯さんの落語



おおたかSC・小林さんの体操



糸こうじさんのハーモニカ歌謡ショー

「えがお」スタッフとイベント出演者の皆さんとの交流会を去る十月二十二日(土)に開催しました。

日頃、イベント出演の方々とは他の出演者との交流の場がなく、また、イベントに快く出演していただいているお礼の気持ちを込めて「えがお」スタッフとの交流の場を持ちました。

朝十時から夕方六時近くまで、出演者それぞれの演奏、歌、落語の披露およびみんなで体操と盛り沢山の内容で多に盛り上がった交流会になりました。紙面の都合で交流会の一部しか写真で紹介できないのが残念です。

## 健康麻雀に集う方たちの懇親忘年会が催されました。 元気シニアの輪が広がりはじめました。

十二月九日(金)に「えがお」健康麻雀同好の方たち総勢三十人の「忘年会」が開かれました。えがおの健康麻雀利用者は毎週二回開催されていることもあり、利用者の半数を占めるほど人気のある催しです。「えがお健康麻雀を通してせつかく知り合いになれたので、何か親睦を深める集いしよう」という声が上がりました。今回の忘年会になりました。私たちの願っていたことが利用者の方から自然発生的に持ち上がったことは大変喜ばしいことで「えがお」を通して仲間の輪が広がり元気シニアが増え、助け合い活動の担い手として活躍してもらえ方を期待します。



健康麻雀をこよなく愛する方々による懇親忘年会風景

## 韓国放送公社(KBS)の 番組取材を受けました。

日本は今、介護保険制度改正により全国で住民主体の助け合い活動の組織づくりに取り組んでいます。お隣の韓国でも日本以上に高齢化が加速していることから高齢者生活支援の担い手としてボランティアに関心が集まっています。

そんな中で去る六月二十二日に韓国より韓国放送公社(KBS・日本のNHKに相当)の取材陣が当会の助け合い活動の取材に来日されました。

番組タイトル「明見萬里・第三セクターで道を拓く」の一時間番組の特集で高齢者福祉のボランティア活動に焦点を当て、助け合い活動を実践している人の声や有償ボランティアの仕組みなどを取材して行きました。韓国では七月初旬に放映され、番組を見た視聴者から直接、問い合わせが数件ありました。

国内からも市民団体、民間企業などからの視察、問い合わせが相次ぎました。



病院への送迎サービスを熱心に取材するKBS取材クルーインタビューを受ける千葉滝夫さん

## 「東葛福祉葬祭」の利用ができるようになりました。

この度、当会はNPO法人流山高齢者安心ネットと提携し、地元に着した誠実で信頼のおける「東葛福祉葬祭」(0120-404194)の葬儀を利用できるようになりましたので、ご案内いたします。当会も設立から十三年が経過し会員の高齢化が一層進んできました。また、利用会員の皆さまから多様なご相談、サービス提供を求められており今回は、会員サービスの一つに加えました。是非、ご利用ください。

会員の皆さまにサービスの内容を詳しくご案内するために左記の説明会を計画しましたので、関心のある方は、是非、ご出席ください。

### 会員説明会

- 月日：平成二十九年一月二七日(金)
- 時間：午後二時から
- 場所：ふれあいの家「えがお」
- 申し込みは事前にご連絡ください。
- ※定員五〇人で締め切ります。
- 連絡先：市民助け合いネット

☎ 7153-5733

### 事務所からのお知らせ

- ★ 助け合いの依頼は、早めに(2, 3日前)余裕を持ってお願いします。
- ★ 助け合い活動のチケットの精算は、出来るだけ早めをお願いします。
- ★ 年末年始は、12月29日～1月3日まで事務所はお休みです。